

## 1. 内政

### ▼刑事事件に関する動き

・25日、欧州議会によるウクライナの監視ミッション代表のコックス元欧州議会議長及びクファシニエフスキ元ポーランド大統領は、ウクライナを訪問し、ハルキフの国鉄中央病院においてティモシェンコ前首相と面会。27日、両代表は、ヤヌコーヴィチ大統領及びアザールーフ首相と会談。アザールーフ首相は、ウクライナは同ミッションの活動に今後も協力する旨発言。

・27日、クジミン次長検事は、シチェルバニ元最高会議議員暗殺事件へのティモシェンコ前首相の関与を立証する十分な証拠がある旨発言。また、28日、同次長検事は、検事総局はゴンガゼ記者殺害事件へのクチャマ元大統領の関与に関する捜査を継続している旨発言。

### ▼その他

・29日、ティモシェンコ前首相は、2015年大統領選挙で決選投票が行われる場合は野党は統一候補を擁立すべきではないとし、国家を分断する恐れがあるとして抗議集会の実施を中止するよう与野党双方に呼びかける旨の声明を発表。

・30日、憲法裁判所は、キエフ市長・同市議会選挙は2015年10月の最終日曜日に実施されるべきである旨の29日付決定を発表。一方、ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派代表は、同決定を非難し、野党は憲法裁判所の責任を追及しつつキエフ市議会の解散を中央選挙管理委員会に要求する旨の声明を発表。同日、野党は、キエフ市長・同市議会選挙を本年10月27日に実施する旨の決議案を最高会議に登録。

・31日、野党3党は、ドネツクにおいて全国抗議運動「立ち上げられ、ウクライナ」の集会を実施。

### ▼世論調査

[ラズムコフ・センター及び民主イニシアチブ基金]

・2013年5月に大統領選挙が実施された場合の候補者支持率(投票意思のない者を除く)

(ティモシェンコ前首相が出馬した場合)

ヤヌコーヴィチ大統領:23.4%、ティモシェンコ前首相:16.3%、クリチコ「ウダール」党党首:15.5%、ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派代表:8.4%、チャフニボク「スヴォボーダ」党党首:6.7%、シモネンコ共産党党首:6.6% 等

(ティモシェンコ前首相が出馬しなかった場合)

ヤヌコーヴィチ大統領:23.1%、クリチコ「ウダール」党党首:17.9%、ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派代表:15.9%、チャフニボク「スヴォボーダ」党党首:7.8%、シモネンコ共産党党首:6.4% 等

・調査は5月17日から22日にかけて2,010名の成人を対象に実施。

[レイティング社]

・2013年5月にキエフ市長選挙が実施された場合の候補者支持率(投票意思のない者を除く)

クリチコ「ウダール」党党首:35.9%、ポポフ・キエフ市行政府長官:17.1%、ポロシェンコ前経済発展・貿易相:11.0% 等

・調査は5月20日から26日にかけて1,002名のキエフ市民を対象に実施。

## 2. 経済

### ▼IMF

・28日、シチェルバコヴァ・ウクライナ国立銀行通貨政策局長は、4月末、本年返済すべきIMF債務50億7,000万ドルのうち20億1,300万ドルを返済した、この結果、本年の総返済額が20億8,000万ドルに達した旨発表。

### ▼金融

・28日、ウクライナ国立銀行は、2013年5月1日時点において、ウクライナで営業を行う銀行数が175行、このうち外国資本の入っている銀行数が53行(100%外国資本は22行)、ウクライナの銀行システムにおける外国資本の割合が37.9%と発表。

・28日、ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、同日発表した報告書において、ウクライナの銀行システム見通しを引き続き「ネガティブ(弱含み)」と評価。また、30日、同社は、2013年末時点で、国内通貨フリヴニャが10～15%弱くなるとの見通しを発表。

### ▼ガス問題

・29日、アザールーフ首相は、ロシアとのガス契約内容の修正は裁判ではなくロシアとの交渉によって行うべきである旨発言。

### ▼その他

・27日、マスター・カードが発表した世界渡航先ランキング(Global Destination Cities Index)において、キエフは調査対象132都市中64位(ヨーロッパの都市の中では21位)。同社は、2013年にキエフを訪問する旅行者数を160万人と予想。

・28日、プリシャジニョク・キエフ州知事は、ボリスポリ空港とキエフ市内を結ぶ鉄道「Air Express」建設事業に関し、今後10日間のうちに本格工事が開始される見込みと発言。

・30日、経済発展・貿易省は、2013年において5億3,960万ドルの国際支援(対前年比5,400万ドル増)を受ける計画である旨発表。

・30日、スイスの国際経営開発研究所(IMD)は、2013年の国際競争力ランキング(対象国は60カ国)を発表。ウクライナは49位(2012年は56位)。1位アメリカ、2位スイス、3位香港、24位日本、42位ロシア。

・30日、米国通商代表部は、ウクライナにおける知的財産権の保護に「深刻な懸念がある」として、制裁を視野に入れた調査を開始した旨発表。

### 3. 外政

#### ▼ヤヌコーヴィチ大統領の訪露(26日)

・26日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ロシアを実務訪問し、ソチにおいてプーチン大統領と会談。両大統領は、二国間関係、CISにおける協力及び28、29両日アスタナにおいて開催されるユーラシア経済委員会の準備状況等に関し協議。

・27日、ホンチャルク大統領補佐官兼大統領府国際関係総局長は、ガス輸送システムに関する交渉と関税同盟における協力形式は別個の問題である旨強調し、関税同盟との協力はウクライナの欧州統合路線の障害とはならない旨発言。

#### ▼コジャーラ外相のブリュッセル訪問

・27日、コジャーラ外相は、欧州議会外務委員会に出席し、連合協定署名に向けた改革の進捗状況に関し説明。同外相は、ウクライナには政治犯は存在しないとして、連合協定が署名されない場合、EU外交の地政学的失敗となるであろう旨発言。

・27日、コジャーラ外相は、訪問中のブリュッセルにおいてラスマセンNATO事務総長と会談し、ウクライナ・NATOの建設的なパートナーシップの発展問題等に関し協議。

#### ▼コジャーラ外相のフィンランド・スウェーデン訪問

・28日、フィンランドを訪問したコジャーラ外相は、カタイネン首相、トゥオミオ外相及びヘイニャルオマ議長と会談し、両国政治、貿易・経済及び投資関係の深化及び連合協定署名の準備状況等に関し協議。同日、コジャーラ外相は、フィンランド財界代表との会合に出席し、投資・ビジネス環境改善のためのウクライナの改革に関し説明。

・29日、コジャーラ外相は、スウェーデンを訪問し、ビルト外相及びヴェステルベルグ議長等と会談。双方は、ビリニウスでの東方パートナーシップ首脳会合におけるウクライナ・EU連合協定署名の展望等に関し協議。同日、コジャーラ外相は、スウェーデンの財界代表との会合に出席し、両国投資協力及びビジネス・フォーラム開催の必要性等に関し発言。

#### ▼ヤヌコーヴィチ大統領のカザフスタン訪問

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、カザフスタンを訪問し、ナザルバエフ大統領と会談。両大統領は、産業の近代化による経済発展の重要性及び両国の協力関係問題等に関し協議。

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アスタナにおいて開催されたユーラシア経済委員会会合に出席。同会合においてウクライナ及びキルギスは、関税同盟へのオブザーバー参加を申請し、加盟各国はウクライナ及びキルギスの意図を支持する旨表明。ナザルバエフ大統領は、今秋(10月末)の次回会合において承認できるよう必要な文書を用意することで合意に達した旨発言。

#### ▼プロタセヴィチ欧州議会副議長の来訪

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、来訪したプロタセヴィチ欧州議会副議長と会談し、ウクライナは連合協定署名のための基準の履行に尽力している旨発言。同副議長は、関税同盟との覚書はウクライナ・EU関係に影響しないとして、連合協定署名のための準備プロセスが継続されていることを歓迎する旨発言。

・30日、ルイバク最高会議議長は、プロタセヴィチ副議長との会談において欧州統合関連法案の審議及び採択は9月に終了するであろう旨発言。

・30日、プロタセヴィチ副議長は、キエフで開催されたフォーラムに出席し、ウクライナは恣意的裁判の解消を含む11の課題を解決しなければ大きな機会を逃すことになる旨発言。

#### ▼アザーロフ首相のベラルーシ訪問

・31日、アザーロフ首相は、ベラルーシを訪問し、ミヤスニコヴィチ首相と会談。アザーロフ首相は、関税同盟との協力におけるベラルーシの支持を期待している旨発言。同日、アザーロフ首相は、ミンスクにおいて開催されたCIS首脳会合に出席。

・31日、アザーロフ首相及びプリステンコ・ユーラシア経済委員会委員長は、統一経済圏加盟国の実業家フォーラムに出席し、ユーラシア経済委員会会合への投票権のない参加及び意見の表明等の権利をウクライナに与える「ユーラシア経済委員会とウクライナの相互協力の深化に関する覚書」に署名。10月までに将来のユーラシア経済同盟におけるオブザーバー資格を規定する文書が準備される予定。アザーロフ首相は、関税同盟諸国との協力関係は重要であるとして、ウクライナでは関税同盟の法的基盤に関する検討会が創設されており、関税同盟のどの協定に参加できるか検討している旨発言。

#### ▼リンケビチュウス・リトアニア外相の来訪(31日)

・29日、リンケビチュウス・リトアニア外相は、現時点においてEUはウクライナとの連合協定署名の準備はできていない旨発言。

・31日、コジャーラ外相とウクライナを訪問したリンケビチュウス・リトアニア外相の共同議長により第3回両国外務省間会合が開催され、二国間及びEU・ウクライナ関係、国際機関における協力及び領事問題等に関し協議。

#### ▼その他

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、パロージ欧州委員会委員長と電話会談し、連合協定署名の展望等に関し協議。同大統領は、30日に署名されたユーラシア経済委員会との協力深化に関する合意はWTO加盟国の資格及びDCFTAを含むウクライナの欧州統合路線には反しない旨説明。

### 4. 防衛

・29日、閣僚会議は、2013年から2017年における軍改革国家プログラムを承認、本プログラムには5年間で約1,310億

フリヴニャが必要となる見込みであり、戦闘能力を低下させずに人員を18万4,000人から11万5,000人に削減することによる軍の最適化及び職業軍人化への移行を図る。

・29日、閣僚会議は、インドとの防衛分野における協力に関する政府間協定を承認。

(了)